

マイ・タイムラインを作る

1. 本時の目標

ハザードマップや警戒レベルをもとに、安全に避難できるように見通しを持って避難計画を検討することができる。

2. 準備する物

防災ガイド、ワークシート。
(教師用サイトでダウンロードできます。)

3. 本時の流れ

p.32の洪水ハザードマップの二次元コードを使い住んでいる地域を確認し、「ハザードマップをチェック」に記入する。
↓
マイ・タイムラインについて知る。
↓
p.32の警戒レベルの表とハザードマップを参考にワークシートにあるマイ・タイムラインを作成する。
↓
今日の学習で気づいたこと、学んだことを書く。

	学習活動	指導内容および指導上の注意点
導入	①ハザードマップについて知る。	教師用解説書を参考に、ハザードマップについて説明する。
	②本時のねらいを理解する。	本時のねらいを提示する。
ハザードマップの見方や警戒レベルを知り、避難計画を立てよう。		
展開	③p.32の浸水ハザードマップの二次元コードを読み取り、「ハザードマップをチェック」を記入する。	タブレットを使用し、p.32の洪水ハザードマップを読み取らせ、「ハザードマップにチェックしよう」に記入する。 洪水の危険がない地域の場合は、洪水する地域を調べ、どれくらいの範囲に被害が出ると想定されているのかを確認する。
	④ワークシート1に記入する。	p.32の「とるべき行動を考えよう」を参考にしてワークシート1を記入し、全体でも確認をする。
	⑤ワークシート2に記入する。	p.32の「風水害で避難する時の注意点」を参考に、ワークシート2を記入し、全体でも確認をする。
	⑥マイ・タイムラインについて知る。 風水害は安全なうちに避難ができることに気づく。	教師用解説書p.16ページを参考に、マイ・タイムラインについて説明する。 風水害は人的被害が出る前に、「自主避難などの注意の呼びかけ」や「避難指示」が発表されることに気づけるようにする。
	⑦ワークシート3のマイ・タイムラインを作成する。	p.32の警戒レベルの表とハザードマップを見ながらマイ・タイムラインを作成する。 学校で登校に関する決まり事があれば生徒に伝えたり、確認したりする。
まとめ	⑧今日の授業を振り返り、ワークシート4に本時のねらいと照らし合わせて学びのまとめを記入する。	